

コロナ禍における  
バリ・チューバアンサンブルコンサートの実践報告  
—管楽器教育を考慮したプログラムを検討して—

高島 章悟・角田 憲寿・佐藤 圭亮・佐藤磨裕子・関矢 忠志・高橋 直人

宇都宮大学共同教育学部教育実践紀要 第9号 別刷

2022年8月31日



# コロナ禍における バリ・チューバアンサンブルコンサートの実践報告<sup>†</sup> —管楽器教育を考慮したプログラムを検討して—

高島 章悟\*・角田 憲寿\*\*・佐藤 圭亮\*\*・佐藤磨裕子\*\*・関矢 忠志\*\*・高橋 直人\*\*  
宇都宮大学共同教育学部\*  
タンブル・ヴァッソ\*\*

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症収束の見通しが立たない状況下、コンサート開催の方法を模索した。会場スタッフと連携し、感染防止対策を講じた上でコンサートを開催することができた。本報告では、開催までの経緯と今後の演奏活動への課題について述べる。

キーワード：コンサート、プログラム、感染症対策

## 1. はじめに

本コンサートは、当初2020年8月に開催を予定しており、2019年よりコンサート会場（長岡リリックホール・新潟県長岡市）の予約・確保を行った上で準備を進めていた。ところが、2020年2月に新型コロナウイルス（COVID-19）が蔓延し始め、各地でコンサートなどのイベントの多くが延期または中止を余儀なくされた。本コンサートも会場スタッフと出演者間で開催の可否に関する協議がなされた結果、延期の判断に至った。その後、会場スタッフの感染対策に関する弛まぬ努力により、空調設備による換気の徹底、検温機器の設置、ホール内における全ての施設に消毒用アルコールの設置、利用者に対するソーシャルディスタンスの周知などが講じられ、感染者及び濃厚接触者の該当者は存在しなかった。このことから1年後の2021年8月の開催に向け

て、改めて準備を進めることとなった。本稿では、コロナ禍におけるコンサートの準備、コンサートの実際、聴衆の感想と今後の課題について報告する。

## 2. タンブル・ヴァッソについて

1988年に結成され新潟県吹奏楽連盟に加盟しているバリ・チューバアンサンブルの非営利団体である。1999年に高島が音楽監督に就任し、今日まで24年間音楽全般の指導を続けている。2001年度には新潟県アンサンブルコンテストにおいて初の金賞を受賞し、西関東アンサンブルコンテストに新潟県代表として初めて推薦された。以降、新潟県アンサンブルコンテストでは2002～2005年度、2007年度、2009年度、2010年度に金賞を受賞、そのうち2002年度、2007年度、2009年度、2010年度は西関東大会に推薦されている。また、学校教育現場においては演奏による教育活動に貢献しており、新潟県内の小中学校及び高等学校にてコンサートを13公演行った。また、近年はアンサンブルだけでなく独奏による演奏活動も積極的に行っており、佐藤（磨）は2006年度に新潟県音楽コンクール（管楽部門・独奏・一般）優秀賞、角田は2018年度日本ユーフォニアム・チューバ協会チャレンジソロコンテスト準グランプリを受賞、2019年度新潟県音楽コンクール入選、2021年度同コンクール優秀賞をそれぞれ受賞している。

<sup>†</sup> Shogo TAKASHIMA\*, Noritoshi KAKUDA\*\*, Keisuke SATOH\*\*, Mayuko SATOH\*\*, Tadashi SEKIYA\*\*, Naoto TAKAHASHI\*\*: Practical report of Bari-Tuba Ensemble in concert format in Covid-19 pandemic  
Keywords: Concert, Program, Infectious disease countermeasures

\* Cooperative Faculty of Education, Utsunomiya University

\*\* Tumble Vasso

(連絡先: takashima@cc.utsunomiya-u.ac.jp)

### 3. 感染症対策について

出演者と会場スタッフによる打ち合わせを行った。その際、会場スタッフよりガイドライン（図1）が提示され、それを基準にコンサート当日の感染症対策について検討を行うこととした。

**主催者様へ ご協力のお願い**

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために

当施設では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、皆様の大切な芸術文化活動の場として、できるだけ安心・安全な公演環境を再構築していきたいと考えています。感染拡大防止のため、今までにない運用方法を検討・実践し、この難局を乗り越えるためには、主催者様と連携し取り組みが不可欠です。ご負担をおかけいたしますが、是非、次の点についてご協力をお願い申し上げます。

- 入場者数の制限と密な状況が発生させない工夫を検討してください。**  
密集・密接を防ぐため、入との距離をあげることが重要です。座席数の制約のほか、開場前後・終演後、物販、休憩時などあらゆるシーンでの密集・密接を軽減できるような手段について十分検討してください。また、距離だけでなく入人数調整、時間制、移動方法等についても、今まで以上に余裕をもった計画・運営をお願いします。
- 感染防止対策に必要なスタッフを確保してください。**  
来館者に手指消毒を案内する係や、健康管理のための検温を行う係、密集・密接が発生しないように整理・誘導（入場時・お手洗い・物販などの待機列等）する係等の感染防止対策に必要なスタッフを確保し、万全な対策を講じてください。
- 出演者・スタッフ・お客様等すべての来館者の体調管理をお願いします。**  
来館者全員へ事前の体温計測などの体調管理をお願いします。体調不良や、発熱等の症状が見られる場合は来館を控えてください。また、お客様にも同様に、来場を控えていただくケース等の感染防止対策について事前にお知らせしてください。
- マスク等の着用をお願いします。**  
来館者全員へできるだけマスク等をご用意いただくようお願いしています。お客様にも、マスク等着用のうえで来館いただくようお願いください。※マスクのご持参がない場合は、館内の販売機にてマスクを販売しております。
- 手指の洗浄消毒の徹底をお願いします。**  
来館した際には、手洗い等にて手指の洗浄をお願いします。共用の消毒済みの出入口や、お手洗いにあらかじめ設置してありますが、会場入口や観客エリア等の専用でご利用になる消毒済は、主催者様で手配してください。
- 詳細についてはお問合せください。**  
新型コロナウイルス感染症拡大は、全国的に予断を許さない状況が続いており、引き続き、あらゆる場面で感染拡大防止対策が必要とされています。国や自治体等が示す基準や、各種ガイドラインにおいても、随時変更が行われていることから、最新の状況については、直接リリックホールまでお問い合わせください。

**各室使用時の換気について**  
長時間リリックホールでは、機械換気により常時換気を行っています。概ね1時間ごで室内の空気がすべて換気されますので、扉を閉めていても十分な換気能力を備えています。

長岡市芸術文化振興財団のホームページ・Topicsはこちら  
http://www.nagasaki-caf.or.jp/topics

長岡リリックホール Nagasaki Lyric Hall 観劇課  
〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目1356番地  
Tel 0258-29-7711 Fax 0258-29-7722  
mail : lyric@nagasaki-caf.or.jp

図1 ガイドライン

それぞれ入口専用と出口専用としロビー側ドア前に立て看板を設置、一方通行となるよう徹底する。

- ・ 入口の混雑を防ぐためにチケット及びプログラム配布受付を入口ドア両脇の2箇所に設置し、それぞれ受付スタッフを2名ずつ置き、聴衆に消毒・検温の協力をお願いする。
- ・ 花束、贈り物などの受付は、間隔を空けて入口左チケット及びプログラム配布受付の左手前に設置し、受付スタッフを1名置く。
- ・ コンサート終了後、アンケート等の記載場所はロビー中央寄りに机4台を間隔を空けて設置し、受付スタッフを1名置く。

### (2) ホール内における感染症対策（図3）

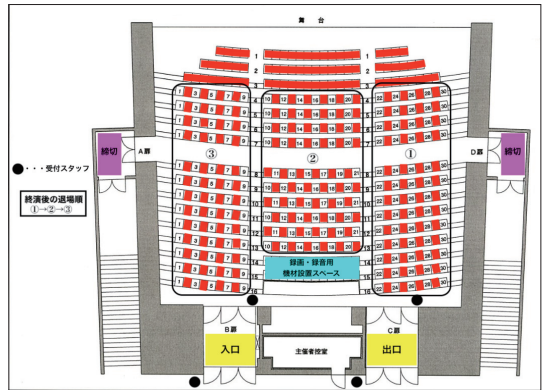


図3

### (1) ロビーにおける感染症対策（図2）

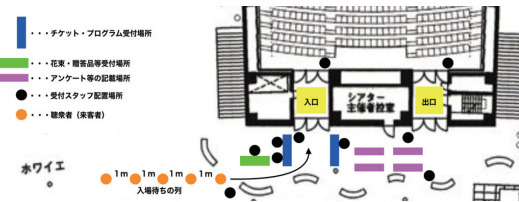


図2

- ・ 開場前の対応として入場待ちの列を1メートル間隔で確保し整理するために受付スタッフを1名置く。
- ・ 開場からコンサート開始前までの間、休憩中及びコンサート終了後のドアは換気のため常に開放の状態にする。
- ・ 使用するホールの出入口は2箇所あり、開場からコンサート終了（聴衆の退場前）までの間、

- ・ 演奏者が楽器を吹くときの飛沫等防止の観点から、客席の最前列から3列目を封鎖する。
- ・ 聴衆同士の間隔を確保するため4列目から最後列まで1席ずつ間隔を空ける。
- ・ コンサート開始時、休憩時及びコンサート終了時には、出入口2箇所のホール側・ロビー側に受付スタッフを1名ずつ（4名）配置し、事前にドアノブを消毒した上でドアの開閉を行う。
- ・ 聴衆にはコンサート開催中もマスクの着用をお願いする。
- ・ コンサート終了後における聴衆の退場に関しては、出入口の一方通行を解除し、且つドア付近の混雑を避けるために①～③のグループに分けて順に退場させる。
- ・ ステージ上では楽器から出る水分を床に落とさないように、吸水シートを設置する。

- ・演奏時、奏者の配置は最低1メートル以上の間隔を保つことを確認する。

### (3) チェックシートの記入

図4 チェックシート

- ・チラシの裏面に感染症対策の案内と提出用のチェックシートを掲載する (図4)。
  - ・感染者及び濃厚接触者が出た場合を想定し、聴衆には来場する際、事前にチェックシートを記入して当日提出してもらうこととする。
  - ・未記入者のために、当日アンケート等の記載場所にチェックシートを設置し、記入・提出してもらう。
  - ・チェックシートはコンサート当日より1か月保管することとする。
- 結果として該当者はいなかった。

## 4. コンサートの実際

### (1) 楽曲の選択

コンサートにおける楽曲の選択に関しては、高島(2020)の(4)プログラムの構成および(5)楽曲の選択を参考としたことに加え、高島とメンバー五人で協議し、新たに以下の2点の要素を取り入れることを検討した。

#### ① 吹奏楽曲のオリジナル作品を編曲した楽曲

吹奏楽や管楽器の愛好家、または中高生の吹奏楽部員がコロナ禍の影響でコンクールの中止、活動の制限や停止を受けて楽器を演奏することが困難な状況となったことから、メンバーが電話やメール、

SNS、または直接活動場所に出向き、希望を調査した。その結果、吹奏楽曲を聴きたいとの意見が多く寄せられたことから検討することとした。

#### ② 古典派の作品を編曲したコンサートのメインとする楽曲

コロナ禍以前より小中学校を中心とした教育現場で演奏機会が増え、楽曲のレパートリーを拡充する必要があることを確認していた。そこで、鑑賞教材として教科書に掲載され、且つ現場の児童生徒や教師からのリクエストも多い、ベートーヴェン作曲：交響曲第5番「運命」はどうかという提案があり、高島が編曲することで試みることにした。

これらにより以下のプログラムを構成した。

#### 第1部

- ・東海林 修：Disco Kid  
(吹奏楽オリジナル作品の編曲、演奏時間4分)
- ・Alfred H.Bartles：The When Tubas Waltz  
(バリ・チューバオリジナル作品、演奏時間5分)
- ・John Stevens：Dances  
(バリ・チューバオリジナル作品、演奏時間5分)
- ・Alfred Reed：Armenian Dances Part I  
(吹奏楽オリジナル作品の編曲、演奏時間11分)

#### 第2部

- ・Aldo Rafael Forte：Tuba Latinas Overture for Tuba Ensemble and Percussion  
(バリ・チューバオリジナル作品、演奏時間7分)
- ・Alan Menken：Friend Like Me  
(ミュージカル作品の編曲、演奏時間5分)
- ・Franz Lehar：The Merry Widow Selections  
(オーケストラ作品の編曲、演奏時間10分)
- ・Ludwig van Beethoven：Symphony No.5 第1楽章 Allegro con brio  
(オーケストラ作品の編曲、演奏時間8分)
- ・岡野貞一：ふるさと  
(文部省唱歌の編曲作品、演奏時間3分)

実際のコンサートでは、楽曲間に楽曲や楽団についての説明、祝電の披露などを交えながら進行させた。

## 5. コンサート終了後の聴衆の反応

プログラムと共に事前にアンケート用紙を配布

し、聴衆44人の回答を得ることができた。結果は以下のとおりである。

- 1) 性別：男18名 女25名 無回答1名
- 2) 年代：10歳代7名 20歳代10名 30歳代4名 40歳代5名 50歳代7名 60歳代5名 70歳代2名 80歳代1名 無回答3名
- 3) 印象に残った曲
  - ・Disco Kid 7名
  - ・The When Tubas Waltz 8名
  - ・Dances 15名
  - ・Armenian Dances Part I 13名
  - ・Tuba Latinas Overture for Tuba Ensemble and Percussion 10名
  - ・Friend Like Me 11名
  - ・The Merry Widow Selections 12名
  - ・Symphony No.5 第1楽章 Allegro con brio 23名
  - ・ふるさと 10名
- 4) 企画・選曲について（自由記述）
  - ・プログラムのバリエーションが良く、バリチューアンサンプルの可能性を感じ、楽しめた。
  - ・知っている曲と初めて聞く曲のバランスが個人的にはちょうどよかった。
  - ・今まで聞いたことのある「運命」と違い優しい感じがしました。
  - ・楽器のいろいろなキャラクターが見られた。
  - ・大好きな曲が多くありました
  - ・吹奏楽曲がやっぱり好きです。
  - ・1人1人の音がいろんな曲で聞けて良かったです。
  - ・バリチューバでアルメニアンダンスが聞けるとは思いませんでした。
  - ・大曲のバリチューバ編成は新鮮でした、懐かしくもありました。
  - ・初めてバリチューバの演奏を聴いたが、優しい音で心地よかった。
  - ・トークが面白かった。
  - ・有名な曲からバリチューバの曲まで多様な選曲でよかった。
  - ・アップテンポの曲をうまく演奏されていて素晴らしいかったです。
  - ・ユーフォとチューバだけで聞くことがない曲がたくさんあって新しい感じがした。

- ・20数年ぶりにダンスが聞けてうれしかった。ふるさとに感動しました。
- ・楽しめた。
- ・聞いていて楽しくなりました。とても心地よかったです。
- ・とても楽しかったです。
- ・コロナで沈んでいた心が少し晴れた気がしました。

## 6. 成果と課題

まず、コンサートを終えて感染症対策に関するトラブルまたは意見等がなかったことから、個人のレベルでそれぞれが対策を講じた上で、ホールという大きな空間で音楽を共有できたのではないかと考える。プログラムに関しては、吹奏楽曲を初めて取り入れたことが、今回のプログラム全体のバリエーションだけでなく、バリ・チューバアンサンブルとしてのレパートリー拡充に繋がるということを聴衆の感想により確認することができた。また、Ludwig van Beethoven: Symphony No.5をメインの楽曲として取り入れたことに関しては、アンケートの結果、好評であり大きな成果であった。一方、バリ・チューバアンサンブルにおいてベートーヴェンのような古典派の作品を取り入れる場合、吹奏楽曲やオリジナル作品、ロマン派以降のクラシック作品とのバランスを考慮した選曲およびプログラム構成が必要となる。これは高島とメンバーとの間で今後のコンサート継続のための課題となった。

## 7. むすびに

本コンサートが開催される約2週間前の8月中旬、新潟市の音楽ホールではジュニア合唱団による集団感染（クラスター）が発生したという報告があった。開催直前ということもあり、本コンサート開催が可能かどうか不安があった。しかしながら、前述した会場スタッフの徹底した感染対策と当日の聴衆に対する対応・配慮により、コンサートが開催され、無事終えることができたことは、今後活動していく上で大変重要な経験であったと認識している。現在、変異株が蔓延し収束の見通しが不透明である。その中で研究活動を継続させていくために、今後も感染症に関する正確な情報を収集し、状況に応じた対策が必要になるであろう。そのためにも、関係各所との連携を密に継続していかなければならない。

## 謝辞

本稿作成にあたり情報提供にご協力くださった、  
公益財団法人：長岡市芸術文化振興財団様に心より  
御礼申し上げます。

## 参考文献

- [1] 高島章悟 『バリ・チューバアンサンブルによる  
コンサートプログラムに関する考察I-管楽器教  
育発展のための企画力を身につける-』 宇都宮  
大学共同教育学部教育実践紀要第7号, 2020
- [2] 東海林 修 『Disco Kid for Tuba Quartet』  
東海林コーポレーション, 2009
- [3] Alfred H.Bartles, *The When Tubas Waltz*.  
Cimarron Music Press, 1991
- [4] Alan Menken, 平泉 奏編 『フレンド・ライク・  
ミー』 ウインズスコアー, 2015
- [5] Alfred Reed, 高橋宏樹編 『アルメニアンダン  
スパートI』 スーパーキッズ, 2018
- [6] Franz Lehar, 鈴木英史編 『喜歌劇「メリー・  
ウイドウ」セレクション』 ブレーンミュージッ  
ク, 2007
- [7] John Stevens, *DANCES FOR TUBA AND  
THREE TUBAS*. U.S.A.:PEER INTERNATIONAL  
CORPORATION, 1978
- [8] Aldo Rafael Forte, *Tuba Latinas Overture  
for Tuba Ensemble and Percussion*. Tuba-  
Euphonium Press 1992
- [9] 長岡市芸術文化振興財団公式ホームページ  
2022.2月28日アクセス, [http://www.nagaoka-  
caf.or.jp](http://www.nagaoka-caf.or.jp)
- [10] りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館公式サイト  
2022.2月28日アクセス, [https://www.ryutopia.  
or.jp](https://www.ryutopia.<br/>or.jp)

令和4年4月1日 受理







# Practical report of Bari-Tuba Ensemble in concert format in Covid-19 pandemic

Shogo TAKASHIMA, Noritoshi KAKUDA, Keisuke SATOH,  
Mayuko SATOH, Tadashi SEKIYA, Naoto TAKAHASHI